

DI 指数、再びマイナスに

第61回冷凍空調機器需要予測調査（中間報告）

当会は、平成27年4月から5月末までの期間に、第61回冷凍空調機器需要予測調査を実施した。同調査は全普通会员3,051社を対象に調査票を送付、書面記入方式で実施した。その結果、5月末日までに回答のあった529社（回答率17.3%）について集計したものの中間報告である。（回答企業の地域別・業態別は表1）

同調査は、年1回実施しており、昨年は4月に実施している。

I. 最近の商況

DI指数マイナス2.1ポイントと再びマイナスに

「最近の商況」の質問では、「良い」「やや良い」と前年度を上回った企業は30.2%（同29.3%）、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」を合わせて32.3%（前回28.1%）となり、業況を占うDI（景況）指数はマイナス2.1ポイント（同プラス1.2ポイント）となった。前回調査と比較して、3.3ポイントマイナスとなり、再びDI指数がマイナスとなった。前年度比がマイナスとなったのは5年ぶり（表2）。

日本経済は、リーマンショックの影響などから100年に1度と言われる世界的な経済危機から、円安・株高を受けて、大企業、輸出を中心とした製造業の業績の回復を受けて上向いてきている。

そのような状況中、冷凍空調業界は、回復基調にある景気に押されて設備投資が増加したこと、高効率機器への入れ替え、消費税増税前の駆け込み需要、補助金制度の充実などの相乗効果などにより、当設備業界も回復に向かっていったが、消費税増税の影響も少なからずあり、DI指数は前年度比若干のマイナスとなった。

数値から判断すると、「良い」「やや良い」という企業は増えているが「悪い」という企業も増えており二極化してきているようである。

特にここ3年間では、DI指数が83.3ポイントも改善しており、V字回復となった昨年の勢いに、少し陰りが見え始めたようである。

地区別に見ると、マイナスだったのは「東北」（マイナス17.6ポイント）、「四国」（マイナス5.5ポイント）、近畿（マイナス5.5ポイント）、「関東甲信越静」（マイナス4.3ポイント）と4地区となった。また、プラスになっ

たのは「西日本」（13.6ポイント）、「中国」（8.2ポイント）、「中部」（7.8ポイント）、北海道（6.3ポイント）と二極化している。

マイナスポイントが一番大きかった「東北」は、前年度と比較して、復興需要が一段落している状態で、今後、建物が建ってくると景況感は上がってくる。また、「関東甲信越静」がマイナスであったが、民間工事の着手が予

表1 地域別・業態別回答数

地域	件数	空調設備	冷凍・冷蔵設備	その他	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	332 62.8	117 22.1	73 13.8	7 1.3
北海道地区	16 100.0	5 31.3	9 56.3	2 12.5	—
東北地区	57 100.0	35 61.4	13 22.8	7 12.3	2 3.5
関東甲信越静	185 100.0	119 64.3	41 22.2	24 13.0	1 0.5
中部地区	64 100.0	48 75.0	10 15.6	6 9.4	—
近畿地区	36 100.0	19 52.8	11 30.6	5 13.9	1 2.8
中国地区	47 100.0	31 66.0	8 17.0	8 17.0	—
四国地区	47 100.0	29 61.7	7 14.9	10 21.3	1 2.1
西日本地区	66 100.0	39 59.1	16 24.2	9 13.6	2 3.0

表2 最近の商況

地域	件数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	32 6.0	128 24.2	194 36.7	106 20.0	55 10.4	10 1.9	4 0.8
北海道地区	16 100.0	3 18.8	5 31.3	1 6.3	3 18.8	4 25.0	—	—
東北地区	57 100.0	6 10.5	6 10.5	21 36.8	13 22.8	7 12.3	2 3.5	2 3.5
関東甲信越静	185 100.0	9 4.9	48 25.9	62 33.5	35 18.9	25 13.5	5 2.7	1 0.5
中部地区	64 100.0	3 4.7	19 29.7	24 37.5	14 21.9	3 4.7	—	1 1.6
近畿地区	36 100.0	2 5.6	8 22.2	13 36.1	9 25.0	3 8.3	1 2.8	—
中国地区	47 100.0	5 10.6	11 23.4	18 38.3	8 17.0	4 8.5	1 2.1	—
四国地区	47 100.0	2 4.3	11 23.4	19 40.4	8 17.0	6 12.8	1 2.1	—
西日本地区	66 100.0	2 3.0	20 30.3	31 47.0	10 15.2	3 4.5	—	—

表3 前年の売行き状況（パッケージエアコン）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件)	529	122	288	72	47
合計 (%)	100.0	23.1	54.4	13.6	8.9
北海道地区	16	5	5	3	3
	100.0	31.3	31.3	18.8	18.8
東北地区	57	18	29	8	2
	100.0	31.6	50.9	14.0	3.5
関東甲信越静	185	40	101	29	15
	100.0	21.6	54.6	15.7	8.1
中部地区	64	16	38	7	3
	100.0	25.0	59.4	10.9	4.7
近畿地区	36	5	19	5	7
	100.0	13.9	52.8	13.9	19.4
中国地区	47	9	29	5	4
	100.0	19.1	61.7	10.6	8.5
四国地区	47	8	25	8	6
	100.0	17.0	53.2	17.0	12.8
西日本地区	66	20	36	5	5
	100.0	30.3	54.5	7.6	7.6

定よりもずれ込んでいることなどが影響しているようだ。

Ⅱ. 冷凍空調機器の売れ行き状況

PACは堅調に推移

パッケージエアコンの売れ行き状況では、「良い」は23.1%（前回調査21.9%）となり、昨年並みの「普通」は54.4%（同54.1%）と、昨年並以上の企業が3/4となった。これに対して「悪い」は13.6%（同15.0%）と昨年より少し改善している。また、2014年度のパッケージエアコンの出荷台数は、前年度比100.6%の約84.0万台とほぼ横ばいとなり、日本冷凍空調工業会発表の出荷台数とほぼ同じ傾向を示し、高い水準を維持している（表3）。

一方、コールドチェーン機器の売れ行き状況では、冷凍・冷蔵ショーケースは、「良い」と回答した企業は3.0%（同5.3%）で、「普通」が28.9%（同23.4%）、「悪い」が40.8%（同39.7%）となった。冷凍冷蔵庫は、「良い」は6.2%（同7.5%）、「普通」は35.7%（同33.3%）、「悪い」が32.7%（同30.0%）と鈍さが見られる。また、2014年度の冷凍冷蔵ショーケースの出荷台数は、前年度比112.4%の33.9万台と10%以上も増え、業務用冷蔵庫は前年度比101.2%の19.7万台となり、こちらは若干伸びるなど依然高い水準を維持している。冷凍冷蔵ショーケースと業務用冷蔵庫については出荷台数と逆の傾向を示している（表4、表5）。

見通しは厳しめ

これに対し、今年度の見通しでは、パッケージエアコンにおいて「良い」と回答した企業は18.9%と、前年度実績の「良い」の23.1%と比較して、今年度は若干厳しい見方をしている。また、冷凍冷蔵ショーケースでは、「良い」は2.1%、「普通」は30.8%、「悪い」は39.1%と前年

表4 前年の売行き状況（冷凍・冷蔵ショーケース）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件)	529	16	153	216	144
合計 (%)	100.0	3.0	28.9	40.8	27.2
北海道地区	16	—	7	5	4
	100.0	—	43.8	31.3	25.0
東北地区	57	1	23	25	8
	100.0	1.8	40.4	43.9	14.0
関東甲信越静	185	3	52	75	55
	100.0	1.6	28.1	40.5	29.7
中部地区	64	2	18	28	16
	100.0	3.1	28.1	43.8	25.0
近畿地区	36	3	11	10	12
	100.0	8.3	30.6	27.8	33.3
中国地区	47	4	10	19	14
	100.0	8.5	21.3	40.4	29.8
四国地区	47	2	11	21	13
	100.0	4.3	23.4	44.7	27.7
西日本地区	66	1	19	29	17
	100.0	1.5	28.8	43.9	25.8

表5 前年の売行き状況（業務用冷蔵庫）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件)	529	33	189	173	134
合計 (%)	100.0	6.2	35.7	32.7	25.3
北海道地区	16	3	5	6	2
	100.0	18.8	31.3	37.5	12.5
東北地区	57	7	24	19	7
	100.0	12.3	42.1	33.3	12.3
関東甲信越静	185	11	65	54	55
	100.0	5.9	35.1	29.2	29.7
中部地区	64	1	23	24	16
	100.0	1.6	35.9	37.5	25.0
近畿地区	36	3	15	7	11
	100.0	8.3	41.7	19.4	30.6
中国地区	47	5	13	17	12
	100.0	10.6	27.7	36.2	25.5
四国地区	47	1	14	21	11
	100.0	2.1	29.8	44.7	23.4
西日本地区	66	2	27	22	15
	100.0	3.0	40.9	33.3	22.7

度実績と比較して、さらに悪化するとの見方をしている。冷凍冷蔵庫はほぼ横ばいと予測している（表6～表8）。

その他、今年4月に施行された「フロン排出抑制法」について、その内容を「概ね理解している」企業が殆どで、業務に直接影響することもあり、関心の高さがうかがえる。

また、設備会社の顧客である「機器ユーザー」への周知については、全ての顧客へ説明しきれていない実態が浮き彫りとなった。

さらに、点検や充填に必要な「十分な知見」となる「冷媒フロン類取扱技術者」資格の取得状況について、「第一種」は3/4、「第二種」は半数取得しており、「取得していない」企業は1割にも満たないことがわかった。

表6 今年の売行き見通し（パッケージエアコン）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	100 18.9	299 56.5	74 14.0	56 10.6
北海道地区	16 100.0	6 37.5	4 25.0	3 18.8	3 18.8
東北地区	57 100.0	13 22.8	32 56.1	10 17.5	2 3.5
関東甲信越静	185 100.0	33 17.8	103 55.7	29 15.7	20 10.8
中部地区	64 100.0	12 18.8	39 60.9	9 14.1	4 6.3
近畿地区	36 100.0	4 11.1	23 63.9	2 5.6	7 19.4
中国地区	47 100.0	6 12.8	28 59.6	7 14.9	6 12.8
四国地区	47 100.0	4 8.5	30 63.8	7 14.9	6 12.8
西日本地区	66 100.0	19 28.8	35 53.0	6 9.1	6 9.1

表7 今年の売行き見通し（冷凍・冷蔵ショーケース）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	11 2.1	163 30.8	207 39.1	148 28.0
北海道地区	16 100.0	—	8 50.0	4 25.0	4 25.0
東北地区	57 100.0	1 1.8	22 38.6	26 45.6	8 14.0
関東甲信越静	185 100.0	3 1.6	56 30.3	70 37.8	56 30.3
中部地区	64 100.0	—	19 29.7	29 45.3	16 25.0
近畿地区	36 100.0	2 5.6	16 44.4	6 16.7	12 33.3
中国地区	47 100.0	3 6.4	10 21.3	19 40.4	15 31.9
四国地区	47 100.0	1 2.1	11 23.4	23 48.9	12 25.5
西日本地区	66 100.0	1 1.5	19 28.8	26 39.4	20 30.3

表8 今年の売行き見通し（業務用冷凍冷蔵庫）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	38 7.2	187 35.3	169 31.9	135 25.5
北海道地区	16 100.0	3 18.8	5 31.3	6 37.5	2 12.5
東北地区	57 100.0	9 15.8	24 42.1	17 29.8	7 12.3
関東甲信越静	185 100.0	14 7.6	61 33.0	55 29.7	55 29.7
中部地区	64 100.0	2 3.1	23 35.9	23 35.9	16 25.0
近畿地区	36 100.0	3 8.3	19 52.8	3 8.3	11 30.6
中国地区	47 100.0	3 6.4	13 27.7	18 38.3	13 27.7
四国地区	47 100.0	2 4.3	13 27.7	23 48.9	9 19.1
西日本地区	66 100.0	2 3.0	26 39.4	21 31.8	17 25.8

表9 フロン排出抑制法の理解度

地域	件数	概ね理解している	理解していない	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	511 96.6	9 1.7	9 1.7
北海道地区	16 100.0	15 93.8	1 6.3	—
東北地区	57 100.0	56 98.2	—	1 1.8
関東甲信越静	185 100.0	181 97.8	2 1.1	2 1.1
中部地区	64 100.0	61 95.3	2 3.1	1 1.6
近畿地区	36 100.0	35 97.2	—	1 2.8
中国地区	47 100.0	46 97.9	—	1 2.1
四国地区	47 100.0	45 95.7	2 4.3	—
西日本地区	66 100.0	62 93.9	2 3.0	2 3.0

表10 「フロン排出抑制法」について顧客への説明

地域	件数	ほとんどの顧客に説明した	半分程度の顧客に説明した	少しは説明した	全く説明していない	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	126 23.8	182 34.4	184 34.8	25 4.7	12 2.3
北海道地区	16 100.0	3 18.8	3 18.8	8 50.0	2 12.5	—
東北地区	57 100.0	15 26.3	27 47.4	12 21.1	2 3.5	1 1.8
関東甲信越静	185 100.0	42 22.7	69 37.3	59 31.9	10 5.4	5 2.7
中部地区	64 100.0	19 29.7	22 34.4	20 31.3	3 4.7	—
近畿地区	36 100.0	12 33.3	13 36.1	8 22.2	2 5.6	1 2.8
中国地区	47 100.0	10 21.3	14 29.8	20 42.6	2 4.3	1 2.1
四国地区	47 100.0	9 19.1	15 31.9	20 42.6	3 6.4	—
西日本地区	66 100.0	14 21.2	17 25.8	31 47.0	1 1.5	3 4.5

表11 「冷媒フロン類取扱技術者」資格の保有状況

地域	件数	保有している (第一種)	保有している (第二種)	保有していない	無回答
合計 (件) (%)	529 100.0	397 75.0	257 48.6	52 9.8	13 2.5
北海道地区	16 100.0	14 87.5	7 43.8	2 12.5	—
東北地区	57 100.0	51 89.5	29 50.9	2 3.5	1 1.8
関東甲信越静	185 100.0	125 67.6	96 51.9	23 12.4	4 2.2
中部地区	64 100.0	48 75.0	31 48.4	7 10.9	1 1.6
近畿地区	36 100.0	28 77.8	20 55.6	4 11.1	1 2.8
中国地区	47 100.0	37 78.7	23 48.9	2 4.3	2 4.3
四国地区	47 100.0	34 72.3	24 51.1	3 6.4	1 2.1
西日本地区	66 100.0	51 77.3	21 31.8	9 13.6	2 3.0